

## 富山高校物語Ⅶ 信念をもって生きた先人に学ぶ

創校以来現在まで、本校の出身者・関係者には、信念をもって人生を送り、大きな業績をあげた方々が多くいらっしゃいます。ここでは、幾人かをご紹介します。詳しくは、平成27年10月発刊の130周年記念誌をご覧ください。

※ ■以下は、ここにあげた本校の先人の業績が分かる博物館や石碑等です。

### 実業 ～先見性をもって産業を築く～

北陸の電力の自律性を、戦前の国策から守り抜き、現代の富山の礎を築いた山田 昌作  
地域内の多くの銀行をまとめあげ、地方銀行の雄を創り上げた金融人中田清兵衛  
富山を代表する産業の一つ、アルミ工業の基礎を築いた木津太郎平

■有峰記念館/アーカイブス

### 政治・司法 ～信念をもってよりよい社会をつくる～

富山県最初の大蔵大臣となり、枢密顧問官として軍国主義の台頭を批判した南弘  
県知事や東京市長を歴任、戦前の東京オリンピック誘致を成功させた牛塚虎太郎  
戦争協力命令に司法権独立を説いて反対、大審院長として県人唯一の三権の長細野長良  
信念のもと戦時中に軍部を批判し、戦後富山市長として戦災復興に尽力した石坂豊一  
戦争中に「思想の自由」を認める判決を下し、司法史上に特筆される裁判官石川修一  
戦後の日本の農地改革や、日中国交回復の基礎を作った政治家松村謙三

■射水市藤巻顕彰碑・句碑

■滑川市立博物館

■松村記念館

### 農業 ～農を中心に地域を支える～

本県の農政発展に尽力し、農民の先頭に立って行動した誠実な政治家島田七郎右衛門  
農業の機械化や用水発電など先見性をもって近代化に努めた農業者鹿熊久安  
治水や灌漑、土地改良など農業の向上はもとより、農業学校の創立に尽力した森丘正唯  
ブラジルに入植し、リーダーとして富山村を開拓した教員・農業技術者松沢謙二

■南砺福野高校巖浄閣

### 医学・薬学 ～健康への願いをつなぐ～

京大教授として生理学を研究し、衛生学の普及や鍼灸の科学的研究を行った石川日出鶴丸  
富大教授として、薬学研究・新薬開発と教育を通じ、薬の富山の発展に寄与した中沖太七郎

### ジャーナリズム ～人々のための課題を提起した～

庶民の視点から、社会問題を取材し、発表し続けたジャーナリスト横山源之助  
米国移民、作家、編集者として世界的視点を持ち、晩年は富山から文化発信した翁久允

■魚津市新金屋公園顕彰碑

■富山市立図書館翁文庫

### 文芸 ～表現を通じて社会とつながる～

短歌を通じて、庶民の暮らしの実態と社会運動を表現し続けた渡辺順三  
越中おわらを愛し、多くの芸術家を招聘し、芸術性を大きく向上させた川崎順二  
『山と溪谷』など多くの山岳随筆が人々から愛された英文学者田部重治  
テレビドラマ、小説、随筆と多彩で魅力的な創作活動を行った久世 光彦

■八尾おわら資料館

■山梨県山梨市文学碑他

■高志の国文学館他

### 人文社会学研究 ～努力が大きな成果を生む～

日本独自の文法論、山田文法を創り上げた独学の大学者山田孝雄  
文芸を学問研究の対象とした先駆的な国文学者岩城 準太郎  
柳田国男の門下で、初期の日本民俗学に新しい研究方法を開発した大間知 篤三  
日本の英語教育をリードし、旧制富山高校(現富大)の礎を作った教育者南日恒太郎  
小泉八雲の愛弟子となり、伝記や全集の発刊、ヘルン文庫の誘致を仲介した田部隆次  
庶民の遊びとされた芭蕉の俳諧を、文学研究の対象として確立した志田義秀  
記紀万葉から現代までの歌謡を、文学研究の対象として確立した志田延義

■富山市立図書館山田文庫

■富山大学(五福)銅像

■富山大学ヘルン文庫

■梅の木史料館

■梅の木史料館

### 美術 ～美の世界を発信する～

鉄釉陶器で人間国宝第一号となった孤高の芸術家石黒 宋磨  
世界の前衛芸術家と交流し、日本を代表した芸術家・批評家瀧口 修造  
世界の美術を学び、広い視野から本県の仏教美術に光を当てた堀井三友

■射水市博物館

■富山県立近代美術館

### 教育・宗教 ～師から弟子に伝える～

児童中心の新しい教育をめざし、学術の面でも教育県とやまの実現に尽力した蜷川龍夫  
世界が注目する「亀谷神学」を構築、富山の地から世界にメッセージを送った亀谷凌雲  
生徒と教員の深い絆の証として、今も生徒を見守る胸像の主 斎藤八郎

■富山高校前庭銅像